

第1回 町田駅周辺整備計画 有識者検討委員会

議事要旨

1. 日時

2022年10月31日(月) 17:30～20:00

2. 場所

町田市役所 4階(政策会議室)

3. 出席者

市川委員長、真野副委員長、服部委員、島原委員、田中委員、萩野委員、森本委員

4. 議事

町田駅周辺は多摩都市モノレールの延伸を契機として、質の向上を目指した都市機能の更新や基盤の見直しが必要になっているため、①町田駅周辺の特徴や魅力、②都市機能について、③動線や駅前広場について、④空間デザインの誘導等について、議論を行った。

①町田駅周辺の特徴や魅力

- ・チェーン店だけではなく、個人経営の中小規模の商店が立ち並び、街として界隈性や雑多性を有する。
- ・幅員の狭い道路が残り、歩行者空間と商店の距離が良い関係性にある。

②都市機能について

- ・住宅機能は賑わいが創出しにくくなる懸念もあり、ある程度は制御した方が良い。
- ・町田をはじめとした郊外都市は業務機能(サテライトオフィス等)の需要がある。
- ・町田の特徴である界隈性と共存できる都市機能を引き続き検討する。
- ・各ゾーンの一連性を見越した誘導が重要で、それを担保する手法を同時に考える必要がある。

③動線や駅前広場について

- ・駅舎を含めた駅前空間の改善や、多くの街区を移動できる動線計画が実現すれば、乗換者がもっと街に出るのではないか。
- ・駅舎を挟んだ街区間の動線は地上レベルとデッキレベルで検討すべき。
- ・駅前広場(引きの空間)がないため、駅と街とが分断した印象を受ける。

④空間デザインの誘導等について

- ・既に界限性を有する街区と共存するような空間デザインを誘導する方針を検討する。
- ・将来像を共有できるディベロッパーの参入や、整備後の管理運営まで事業者と意思疎通ができることが重要。